

平成28年度文化無償「マラウイ放送協会テレビ放送機材及び番組ソフト整備計画」完工式

6月1日、柳沢大使はブランタイヤのマラウイ放送協会（MBC）テレビ局本局において開催された、平成28年度文化無償「マラウイ放送協会テレビ放送機材及び番組ソフト整備計画」の完工式に出席しました。マラウイ側はダウシ情報・通信技術大臣（主賓）、ガマMBC理事長、スムブレタMBC総裁及びMBC役職員が出席しました。日本側は、柳沢大使の他、木藤JICA事務所長、赤塚同職員、秋山JICS業務第三部課長、伊澤・日世貿易株式会社（調達業者）社員が出席しました。

本プロジェクトのE/N及びG/Aは昨年2月に署名され、日本政府は7,120万円を限度額とする資金を供与し、放送機材と番組ソフトが整備されました。

柳沢大使はスピーチで、新規に整備された機材を用い、MBCが適時に、正確で、質が高く、公平な報道を行い、来年予定されている3選挙（大統領、国会、地方議会）が平和で、自由で、公正なものとなるように導いていくことを強く期待すると述べました。また、番組ソフトは青少年にとって有益な農業、保健、数学、科学などをテーマとしており、MBCがこれらを起業家精神の涵養やイノベーションの推進にも役立つよう活用することを期待すると述べました。



新しく購入されたマイク及びカメラ



新テレビスタジオの設置を記念した銘板

ダウシ大臣（左）と柳沢大使（右）によるサブコントロールルームの視察



式典における来賓席（左から柳沢大使、JICA 木藤所長、JICA 赤塚所員）



スピーチ後の乾杯（右から柳沢大使、ダウシ大臣、MBC 総裁、JICA 木藤所長）



集合写真